

職員による自己評価

A環境面

バリアフリーではないが特に不自由していない。

子供たちの成長と共にスペースの確保

B児童への支援内容

学習と曜日別プログラムは保護者の方から評判が良い

C関係機関との連携

療育センターは情報を共有している。

送迎時の対応を再確認している。

D保護者への説明責任・信頼関係

契約時や日々の連絡帳、面談などで確認、様子などを話している。

E非常対応

避難訓練を日々行うことが出来ている。

保護者による評価

A環境面

子供が成長しているせいか少し狭く感じる。

B児童への支援内容

活動内容が固定化されず満足している。

学習面でのフォローが心強い。

C事業所からの情報発信

連絡帳で日々の様子を教えてくれる。

D非常対応

避難訓練の実施状況が曖昧である。

事業所内での分析

【共通点】

連絡帳等でしっかりと連携が取れている。

【相違点】

避難訓練の実施が曖昧である。

保護者側から指導訓練室が狭いのではないかという指摘を受ける。

分析・検討してみて…

### 事業所の強み

毎日の通所でも、プログラムが様々なので、長い時間居ても楽しむことができる。  
日々の学習時間が子供に苦痛なく、でも楽しく行うことができるような教室作りをしている。  
親との連携がしっかりとれる。  
指導員が子供目線になって一緒に過ごすことができる。

### 事業所の改善点

避難訓練の実施状況の周知がなされていない。  
ビルが古いため、バリアフリー等の気遣いがないので何かいい方法はないか。  
より良い療育を何かすることは出来ないか。

### 事業所の改善への取り組み

避難訓練等を実施する際には事前事後報告を徹底する。又、曜日に関してもいろいろな曜日で実施できるようにする。  
衛生面に気を付け安心して過ごせる場にする。  
より良い療育を行えるよう、指導員研修を毎月行い、社外の研修にも積極的に参加するようにする。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～